

A&Dは、自動車の「乗り心地」を計測する 車両試験装置に関する特許を取得いたしました。

株式会社エー・アンド・デイ（本社：東京都豊島区、代表取締役執行役員社長：森島 泰信）は、自動車の「乗り心地」を計測するための試験装置『PFS（Plate Force Sensor）』についての特許を取得いたしました。

【1. PFS（Plate Force Sensor）】

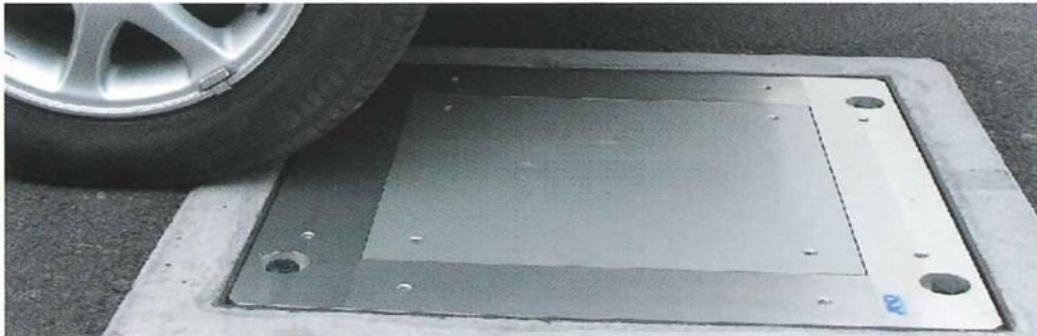
PFSは路面に埋め込み、プレート上で6分力を計測する試験装置です。

タイヤの接地面全体の3分力を計測することに加え、走行軌跡などを算出することができます。

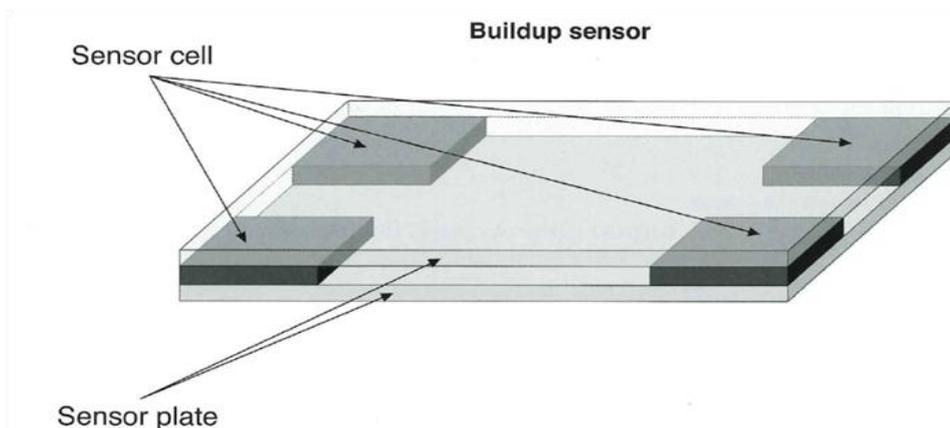
《特徴》

- (1) 3分力を計測する4センサユニットを内蔵した分担力方式のセンサ
- (2) 用途に合わせて寸法を変えたセンサ設計が可能
- (3) 突起などと組み合わせた設置が可能

■PFS埋込例



■PFS概念図

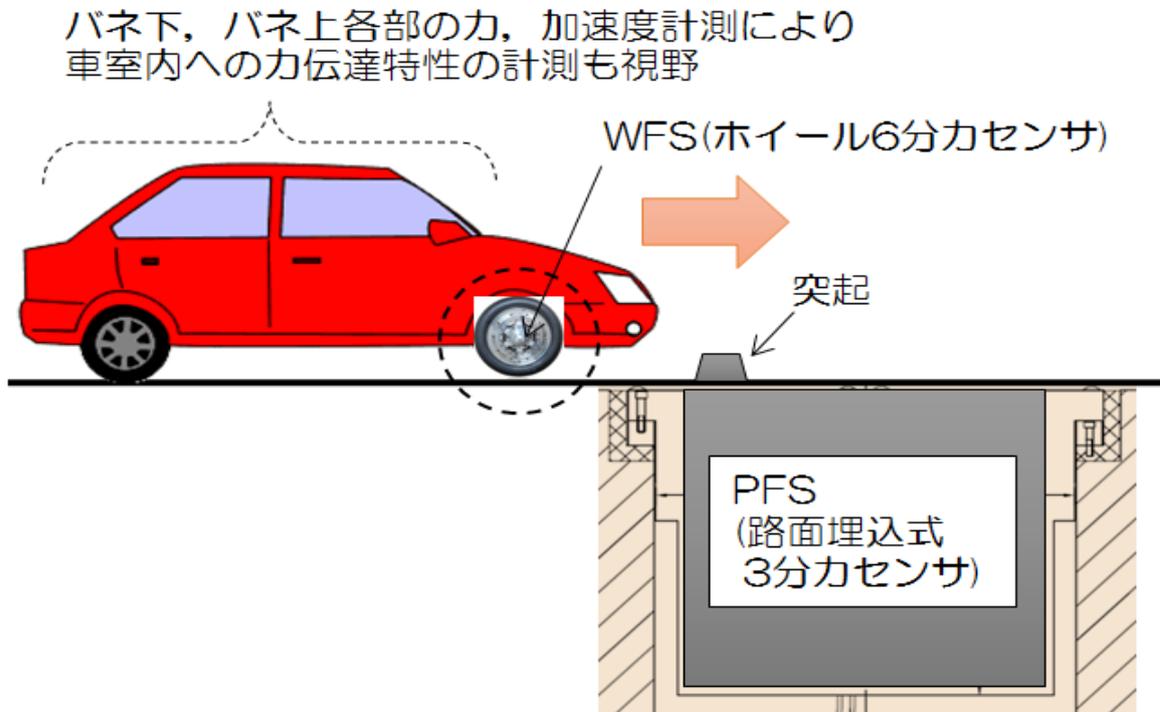


【2. 実車で突起乗り越し時の車両・タイヤ伝達特性の計測】

高周波領域の車両・タイヤ伝達特性を評価することを目的に、PFSを用いた計測試験を行います。

《試験概要》

突起乗り越し時のホイール力と路面反力の3分力を計測し、タイヤの伝達特性を実走行条件下で計算します。



【3. 「乗り心地」改善についての従来の課題】

自動車を評価する重要な項目の一つに「乗り心地」があります。

しかし、従来は「乗り心地」について、車両のどの部分がどのように影響しているかを十分に解析することができなかつたため、「乗り心地」の改善につながらないという課題がありました。

【4. PFSにより得られる効果】

PFSを用いて計測試験を行うことにより、車両が受ける力だけではなく、路面が車両から受ける力を測定し、両方のデータが利用できることから、車両の特性を正確に求めることができます。特に、路面との接地点から車両の計測点までの特性を求めることができるため、突起を乗り越える時の乗り心地に関する特性を正確に求めることが可能になります。

A & Dは、用途に応じて各種の自動車計測・シミュレーション試験装置をご用意しています。詳しくはこちらをご覧ください。

https://www.aandd.co.jp/adhome/products/index_automotive.html

【5. 特許の概要】

発行日 : 平成31年1月9日 (2019. 1. 9)
特許番号 : 特許第6448140号
特許権者 : 株式会社エー・アンド・デイ
発明の名称 : 車両特性解析方法及び装置並びに車両試験装置

会社概要

会社名 : 株式会社エー・アンド・デイ
本店所在地 : 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14
代表者 : 代表取締役執行役員社長 森島 泰信
設立 : 1977年5月
資本金 : 6,388百万円
市場情報 : 東証1部 7745
事業内容 : 電子計測器、産業用重量計、電子天びん、医療用電子機器、試験機、工業計測機器、その他電子応用機器の研究開発・製造・販売

画像URL

https://www.aandd.co.jp/adhome/whatsnew/2019/0129_dsp/dsp_01.png

https://www.aandd.co.jp/adhome/whatsnew/2019/0129_dsp/dsp_02.png

<本件に関するお問い合わせ先>

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

TEL : 048-593-3518 営業技術部 井上 晃

(取材・問い合わせ専用です。広告営業はお控えください)

<https://www.aandd.co.jp>